

# アドリアーナ ルクヴルール

フランチェスコ・チレア 作曲

指揮



栗辻 聡

演出



井原 広樹

## 劇場に生き 愛に生きた 短すぎる女の一生

パリの有名劇場コメディエ・フランセーズの大人気女優アドリアーナ・ルクヴルールは、恋人であるザクセン伯爵の騎手マウリツィオに愛の証としてスマレのブーケを渡す。アドリアーナはマウリツィオが伯爵本人である事をまだ知らない。ブイヨン公爵夫人はマウリツィオを愛しており、彼の為、フランスにザクセン援助の約束を取りつけるよう奔走している。ブイヨン公爵夫人に呼び出されやって来たマウリツィオが、スマレのブーケを持っているのを見た公爵夫人は直ぐに恋敵の存在に気付く。それを察したマウリツィオは夫人のご機嫌を損ねない様にとスマレの花を夫人に渡してしまう。アドリアーナもマウリツィオと夫人の関係に気付き、二人はお互いに火花を散らす。夜会の席で夫人から「恋人に捨てられたアリアドネ」の台詞の朗読を所望されたアドリアーナは、公爵夫人の不義をなじる内容の「フェードル」(夫を裏切った女性)を読み上げ夫人を怒らせる。激怒した夫人はスマレのブーケに毒を仕込み、マウリツィオからだと偽ってアドリアーナに送る。アドリアーナは枯れたスマレを見て彼の心が離れて行くと絶望する。だがそこへマウリツィオが現れ誤解であった事を説明し求婚する。しかし時すでに遅くアドリアーナは花に仕込まれた毒のせいで正気を失い、舞台と愛への強い憧れを胸にマウリツィオの腕の中で息絶えるのであった。  
(※これは実話を元にしたオペラです)

アドリアーナ



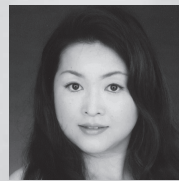
吉岡仁美

マウリツィオ



清原邦仁

ブイヨン  
公爵夫人



橘 知加子

ブイヨン公爵



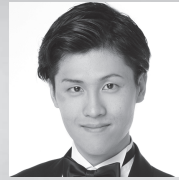
湯浅貴斗

ミシヨネ



松澤政也

ジャズイユ  
僧院長



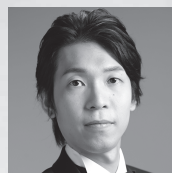
近藤勇斗

キノー



富永奏司

ポアソン



岡成秀樹

ジュヴノ



岡本真季

ダンジュヴィル



蒔田奈々穂

《管弦楽》 パシフィックフィルハーモニア東京

《合唱》 Sop. 井田佳世 松山七織 長太優子 梨谷桃子  
Mez. 席定真弓 井関日和 杉本彩葉 西上亜月子  
Alt. 土岐真弓 林 圭子 藤本裕貴 田中玲奈  
Ten. 加護翔大 芝原輝 難波浩 山路昌輝 堀 真己 西口佳宏  
Bas. 外川大樹 松岡成典 大上晃史 繁 亮太 芳賀健一 日和 充

《チェリスタ》 岡本佐紀子  
《合唱指揮》 岩城拓也  
《振付》 大力小百合  
《助演》 鈴木洋平 ほか

